

物流革新DX

【事業名称】

船舶定点保持装置の曳船向け技術開発(複数年型(3年))

【事業概要】

曳船用に自動で一定の海域に留まることができる船舶用定点保持装置(※)を開発することで、作業待ち時間における船位保持のための船員の作業負荷の軽減や船舶が多く行き交う海域での衝突・接触事故の低減に寄与する

(※) 風や潮流等の自然の力を相殺して、船舶の位置を保持する装置



曳船事業者が沖待ち
(作業待ち時間時の待機)を
行っている様子



船舶定点保持装置(開発イメージ)

【提案事業者】



日本郵船



内海曳船株式会社

NAIKAI TUG BOAT SERVICE CO.,LTD.



京浜ドック株式会社
Keihin Dock Co.,Ltd.

物流革新GX

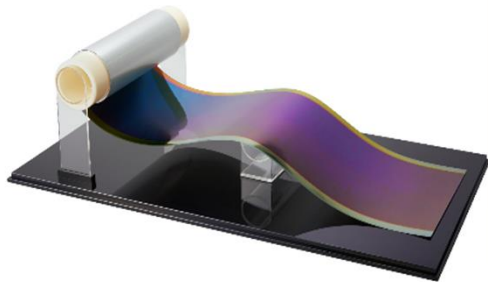
【事業名称】

ペロブスカイト太陽電池を船舶に搭載するための技術開発 (複数年型(3年))

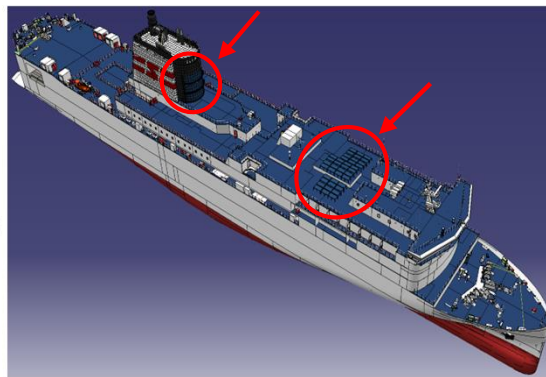
【事業概要】

ペロブスカイト太陽電池(※)を船舶に搭載するため、海上環境下での耐候性の検証や太陽電池を取り付ける最適な方法の検討、船用電源設備へ取り込む受電設備の仕様設計等の技術開発を行うことで、化石燃料による船内発電を抑制し、CO2排出の削減に寄与する

(※) 折り曲げやゆがみに強く、軽量化が可能な次世代型太陽電池



ペロブスカイト太陽電池



ペロブスカイト太陽電池を船舶に搭載している拡大適用例(イメージ)

【提案事業者】

新日本海フェリー **三菱造船**

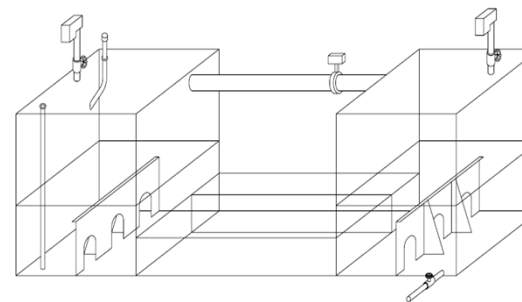
【事業名称】

アンチローリングタンク(ART)とシステム操船による省エネ運航ならびに船員負荷軽減のための技術開発(複数年型(3年))

【事業概要】

水槽試験を活用したアンチローリングタンク(ART)(※)の新制御方式を開発することで、横揺れ減衰のみならず省エネにも配慮したアンチローリングタンクを開発する。また、システム操船の向心機能・船首方位保持機能とアンチローリングタンクの横揺れ減衰機能とを組み合わせることにより、当直船員の労働負荷軽減を図る

(※) タンク内を水等の液体が移動することで、船舶の横揺れを減少させる装置



アンチローリングタンク(ART)



システム操船 (開発イメージ)

【提案事業者】

Kyokuyo

MIWA INC.
SHIPPING COMPANY